

# 熊本県下益城郡砥用町における 祝言のあいさつ

井上博文

## ○はじめに

1. 対象地の地理的環境；全国最大の石橋霊台橋のある町。地理的には熊本県のほぼ中央、九州山地の麓に位置し、県都熊本市より約40kmのところ。
2. 対象地の社会的経済的環境；農業社会。しかし兼業農家がほとんどである。若者の多くは町外に出て行き過疎化、高齢化が進んでいる。
3. 生業；農林業。ほとんどが兼業。
4. 交通；熊本市と鹿児島本線松橋駅からバスがそれぞれ一日7往復ほど走っている。
5. 人口；戸数約2,500戸、人口約9,400人
6. 調査年月日；平成2年8.16～17日
7. 教示者； 林田倫夫氏 (m. M. 23) (\*1) 新聞記者  
田上国宏氏 (m. M. 44) 精米業 奥さん同席  
井上明人氏 (m. S. 7) 建築業(大工)  
井上春江氏 (f. S. 7) 農業
8. 調査者；井上博文、調査場所；いずれも教示者宅
9. 調査方法；配布の調査要項に従い質問法によった。ただし話題の自然な展開を損なわないよう配慮した。録音有り。

## [1] 結納授受のあいさつ

1. 仲人(\*2)が新婦の家に結納を持参した時(\*3)、座敷で、その家の主人(新婦の父親)に向かって、どのようなあいさつをしますか。

○ホンジツワ オヒガラモ ヨク コシテ ～ノ イエカラ  
オツカイトシテ オタクノ ホーニ オジャマサシテ イタダキマス。  
ホンジツワ コーシテ ～ノ イエカラ ゴユイノーノ ショオ  
オアズカリシテ マイリマシタ。ドーゾ イクヒサシク オーサメ  
ネガイマス。(orオネガイモーシアゲマス)(m. M. 44)

本日はお日柄も良くこうして～の家からお使いとしてお宅の方におじゃまさせていただきます。本日はこうして～の家からご結納の書をおあずかりしてまいりました。どうぞ幾久しくお納め願います。

(orお願い申し上げます)

<中年層以上><上品><かしこまり><上待遇><一般的>

2. その家の主人(新婦の父親)は、仲人に応えて、どのようなあいさつをしますか。

○アリガタク イクヒサシク オーサメ イタシマス。(m.M.44)  
ありがたく幾久しくお納め致します。

<中年層以上><上品><かしこまり><上待遇><一般的>

○ツツガナルモノ キョーイクモ デケトリマシェンケド  
コンゴトモ ヨロシク オネガイシマース。(m.M.23)  
つまらない者で教育もできていませんけど、今後ともよろしく  
お願いします。

<老年層><中品><ややかしこまり><中待遇><やや稀>

3. その時の新婦のあいさつ。

その場には居らず、後に呼ばれ、お茶を持ってきて接待をする。

## [2] 嫁をもらう家の人へのお祝いのあいさつ

1. 嫁<sup>(\*)</sup>をもらうことが決まった家の人に道で出合って、近所の人たちはどのようなお祝いのあいさつをしますか。

○アタゲ ヨメゴ モラワステ (orヨメゴン デケラシタゲナ) ナー。  
オセワデ ゴザイマス ナー<sup>(\*)</sup>。(f.S.7)

あなたの家に嫁をおもらいになるって (or嫁がおできになったそう  
だ) ねえ。大変でございますねえ。

<中年層以上><中品><ややかしこまり><中待遇><一般的>

○ヨカ ヨメゴ トンナタッタ ナ。(m.M.44)

いい嫁をおとりになったね。

<中年層以上><中品><親愛><中待遇><一般的>

2. 嫁をもらう家の人、そのあいさつに、どのようなあいさつをしますか。

○ハーイ アツガト ゴザイマース。(orハーイ デケタ デケタ。)  
ヨメゴン エーアンビヤ オライタケン。(f.S.7)

はい、ありがとうございます。(はい、(嫁が)出来た、出来た。)

いい具合にいたから。

<中年層以上><中品><親愛><中待遇><一般的>

○コンゴ ヨロシュ オネガイシマース バイ。(m.M.44)

今後よろしく申し上げますよ。

<中年層以上><中品><親愛><中待遇><一般的>

[3] 嫁を出すことが決まった家の人へのお祝いのあいさつ

1. 嫁に出すことが決まった家の人に、近所の人たちはどのようなあいさつをしますか。

○アンタゲン ムスメジヨワ イカーステ ナー。(f.S.7)

あなたの家の娘さんは(嫁に)お行きになるってねえ。

<中年層以上><中品><親愛><中待遇><一般的>

○コノ タビヤー ゴケッコーン オメデトゴザイマス。サゾカシ  
オセワデゴザイマショー。(m.M.44)

この度はご結婚おめでとうございます。さぞかし大変でございましょう。<中年層以上><上品><ややかしこまり><上待遇><一般的>

2. 嫁に出す家の方は、そのあいさつに答えて、どのようなあいさつをしますか。

○ナガイコト- オセワニナリマシタガ コーシテー ゴエンガ  
アッテー ムコニ イクコトニ ナリマシタガ コンゴトモ  
ヨロシク オネガイシマス。(m.M.44)

長いことお世話になりましたがこうしてご縁があって向こうに行くことになりましたが、今後ともよろしく申し上げます。

<中年層以上><上品><かしこまり><上待遇><一般的>

○ハーイ ヨメゴニ イク イーク。ヨカ ムゴドンノ ヨー  
ミツカライタ ターイ。オルゲントーン モロチ クレライタケーン  
ヨカッタ タイ。アリガタヤ コツ タイ。(f.S.7)

はい、嫁に行く行く。良い婿さんがよく見つかったものだよ。私の家のをもらってくださったからよかったよ。ありがたいことだよ。

<中年層以上><中品><親愛><うちとけ><中待遇><やや稀>

[4] 結婚式当日のあいさつ (\*\*)

結婚式当日、結婚式に出席した人たちは(親戚以外)、どのようなあいさつをしますか。

1-1. 新郎の父親にはどのようなあいさつをしますか。

○キョーワ オセワサンデ ゴザイマース。(f.S.7)

今日はお世話さまでございます。<中年層以上><上品><ややかし

こまり><中待遇><一般的>

○オヒガラモ ヨク ゴケツコン オメデトゴザイマス。(m.M.44)  
お日柄もよくご結婚おめでとうございます。

<中年層以上><上品><かしくまり><上待遇><一般的>

1-2. 父親は、それに応じて、どのようなあいさつをしますか。

○アリガトゴザイマス。キョーワ ゴクローサンデ ゴザイマス。  
(f.S.7) ありがとうございます。今日はご苦労さまでございます。

<中年層以上><上品><ややかしくまり><上待遇><一般的>

○アリガトゴザイマス。マ イロイロト オシェワニ ナリマス。  
(m.M.23) ありがとうございます。ま、いろいろとお世話になります。

<中年層以上><中品><ややかしくまり><中待遇><一般的>

2-1. 新婦の父親にどのようなあいさつをしますか。

○キョーワ オセワデ ゴザイマシュー。(f.S.7)  
今日はお世話でございましょう。<中年層以上><上品><ややかしくまり><中待遇><一般的>

○オヒガラモ ヨク ゴケツコン オメデトゴザイマス。(m.M.44)  
お日柄もよくご結婚おめでとうございます。

<中年層以上><中品><ややかしくまり><中待遇><一般的>

2-2. 父親は、それに応じて、どのようなあいさつをしますか。

○アリガトゴザイマス。キョーワ ゴクローサンデ ゴザイマス。  
キョーワ キツカ モン ナー。(f.S.7)  
ありがとうございます。今日はご苦労さまでございます。今日は  
(私は)つらいものですよ。

<中年層以上><上品><ややかしくまり><中待遇><一般的>

○アリガトゴザイマス。イロイロト オシェワニ ナリマスガ  
コンゴ ヨロシク オネガイシマス。(m.M.23)  
ありがとうございます。いろいろとお世話になりますが今後よろしく  
お願いします。

<中年層以上><中品><ややかしくまり><中待遇><一般的>

5] 結婚式後、姑が新婦を連れて近所へあいさつに回る時のあいさつ

1. 結婚式後、姑が新婦を連れて近所へあいさつに回る(\*\*)時、姑はどのようなあいさつをしますか。

○イマワ モー ウチン ヨメサン ナラシタケ<sup>ツ</sup> ヨロシユ  
オネガイ シマース (or ヨロシユ タノンマース)。  
(f.S.7)

今はもううちの嫁さんになられたからよろしくお願いします。

(orよろしく頼みます)

<中年層以上><上品><ややかしこまり><上待遇><一般的>

2. そのあいさつに応じて、近所の人はどうなあいさつをしますか。

○ハー コチコソ オセワニ ナリマース。キョーワ ゴクロサンデ  
ゴザイマス。オチャドン ノンデ イキナッセ。(f.S.7)

はあ、こっちこそお世話になります。今日はご苦労さまでございます。  
お茶でも飲んでおいきなさい。

<中年層以上><上品><ややかしこまり><上待遇><一般的>

○コチラコソ ヨロシク オネガイシマス。ヨカ ヨメゴ  
モライナッタ ナ。アンシンデ ゴザイマッシユ。(m.M.44)

こちらこそよろしくお願いします。良いお嫁さんをおもらいになっ  
てね。安心でございましょう。

<中年層以上><上品><ややかしこまり><上待遇><一般的>

## [6] 嫁を迎えた家の人へのお祝いのあいさつ

1. 10日ほど前に、長男(29歳)に嫁をもらった60歳台の父親へ、結婚  
式に招かれた50歳台の女性(\*7)が、昼下がりの路上で、どのようなあ  
いさつをしますか。

○オマネキ イタダキマシテ ホントニ アリガトゴザイマシタ。  
センジツカラ タイヘン オセワニ ナリマシタ。リップナ ケッコ  
ンシキデ ゴザイマシタ。コロツケ イタダキマシテ アリガトゴ  
ザイマシタ。(m.M.44)

お招きいただきまして本当にありがとうございました。先日から大  
変お世話になりました。立派な結婚式でございました。心付け(お  
土産)いただきましてありがとうございました。

<中年層以上><上品><かしこまり><上待遇><一般的>

2. 父親は、それに応じて、どのようなあいさつをしますか。

○ハーイ アリガトゴザイマース。ヨカー ヨメゴン キテクレラシタ  
バイター。(f.S.7)

はい、ありがとうございます。いい嫁がきてくださいましたよ。

<中年層以上><中品><親愛><うちとけ><中待遇><一般的>  
○マー コンゴ ヨロシク オネガイシマス バイ。(m.M.44)

まあ、今後よろしくお願いしますよ。

<中年層以上><中品><ややかしこまり><中待遇><一般的>

## [7] 結婚式後の仲人へのあいさつ

1. 結婚式後、仲人の所へ新郎新婦（あるいは両親）がお礼に行った時、どのようなあいさつをしますか。

○エライ オセワカケマシタ ナー。アリガトゴザイマシター。ヨカー  
ケッコンシキガ デキマシター。(f.S.7)

大変お世話をかけましたね。ありがとうございました。よい結婚式ができました。

<中年層以上><中品><ややかしこまり><中待遇><一般的>

○ホントニ マエカラ イロイロト オセワニナリマシタ。ホントニ  
オカゲオモッテ コーシテー リップナー ケッコンシキモ  
デクルシー ワタクシドモモ オカゲデモッテ アンシンオ  
イタシマシタ。(m.M.44)

本当に前からいろいろとお世話になりました。本当におかげでこうして立派な結婚式もできるし、私達もおかげで安心をいたしました。

<中年層以上><上品><かしこまり><上待遇><一般的>

2. 仲人は、それに応えて、どのようなあいさつをしますか。

○ワタシラモ ホントニ イタラナイナガラモ ブジ  
タイニンオ ハタサシテ モラッテ ホントニ アンシンオ  
イタシマシタ。マー コンゴトモ ヨロシク オネガイシマス。

(m.M.44) 私達も本当にいたらないながらも無事に大任を果たさしてもらい本当に安心をいたしました。まあ今後ともよろしくお願いします。

<中年層以上><上品><かしこまり><上待遇><一般的>

## [8] 嫁のはじめての里帰りのあいさつ

1. 嫁がはじめて里帰りする時<sup>(\*)</sup>、嫁ぎ先の親に、どのようなあいさつをしますか。

○サトノ ホーニ イッチョー イッテマイリマース。(m.M.44)

里の方にひとつ行ってまいります。

<中年層以上><中品><親愛><中待遇><一般的>

○イマカル オツソニ イテクン ナー。(f.S.7)

今から大越(嫁の実家の地名)に行ってくるよ。

<中年層以上><中品><親愛><うちとけ><中待遇><一般的>

2. 両親は、それに応えて、どのようなあいさつをしますか。

○ユックリシテ オイデ。(m.M.44)

ゆっくりしておいで。

<中年層以上><中品><親愛><中待遇><一般的>

○ユルーット イテキナハー。 (f.S.7)

ゆっくり行ってきなさい。

<中年層以上><中品><親愛><うちとけ><中待遇><一般的>

### [注]

(\*1) 記号はmが男性、fが女性を示し、M、T、Sはそれぞれ明治、大正、昭和生まれを、その次の数字は生まれた年を表している。したがって、(m.M.23)は男性で明治23年生まれであることを表している。なお、文例の後にこの記号で誰の教示によるかを示した。

(\*2) 仲人は、現在ナコード・ナコードサンが普通であるが、老年層ではナカウドがあり、ナカダチ、ナカダツツァンも見られる。また仲人を頼むことを「ナカダチオ タツル」と言う。また本来の仲人は始めの交渉からするが、兩人・両家の間で既に話が決まっている場合の形式的な仲人をウツタテナカダツ(チ)と呼ぶ。

○サイショカル アンタ イテ ハニヤチクンナハッテユー ナカダチトニヤ チガウ ワケ タイ。ハナシノ キマッテカッ ンナラ アンタイテ アーン ムコン ナカダツト ヨカンビヤ ハニヤ チオーテ クンナハッテ アタジャ キムツ ナカダチ。(m.S.7)

最初からあなたが行って話をして下さいという仲人とは違うわけだよ。(二人の間で)話が決まってから、それならあなたが行ってあの、向こうの仲人と話し合ってくださいと急に決める仲人(のこと)仲人は娘の両親の所へ酒を一升毎回提げて通う。今日は承諾してくれるだろうという見通しがついたらオサカナ(お肴)を少し添えて持っていく。その酒のを相手方が開け、飲んでくれたら承諾したこととなる。仲人は、

○クチオ アケテ ノンデ クレタラ アー コレデ キマツタ  
ナー。(m.M.44)

と安心する。しかし、娘の方ではなかなか酒を開かない。カヤス(返す)と言っても仲人は持って帰らず置いて来る。断わりの文句として、例えば次のように言う。

○ウチノ ムスメワ クレン。マイツトキ ヤラン。(m.M.44)

うちの娘はやらない。もう少しやらない。

仲人は耐えに耐えて通わないとモレーダサン(もらうことができない)「○ソーカタンニワ ヤラン ゾー」という親の気持ちは仲人として、よくわかっている。

○ジュヒチハチマデ ソダテタ ハタチマデ ソダテタ コドモオ  
イタダッコッダイケン ナー。ソラ マー ヤッパシー イヌノコ  
モラウゴツテニヤ イカンワケデス ナー。(m.M.44)

十七八まで育てた二十歳まで育てた子どもをいただくことだからねえ。それはまあ、犬の子を貰うようにはいかないわけですねえ。

なんとか親を説得しなければならぬ。例えば、

○オムコサンワ コーシタ シタガラデス タイ。ソリヤ モー  
ワタシガ ホシヨースツシ マー ショーライ ソノー ゴメーワク  
カケルヨーナ コトモ ナイダローシ ソレデ シブントシテモ  
ヒキウケテ キタトデス。ソツダイケ マ ヒトツ ヨロシク  
オネガイシマース。(m.M.44) お嬢さんはこうした人柄ですよ。

それはもう私が保証するし、まあ将来その、ご迷惑をかけるようなこともないだろうし、それで私としても引き受けてきたのです。それだからまあひとつよろしくお願いします。

仲人は先方の承諾を得るためには多少嘘をまじえて話すことがある。これをナカダチグチ(仲立口)と言う。

(\*3) ユイノーノシナ(結納の品)を納めに行く時には、仲人は男だけが行く。戦前までの結納の品としては、箱の中に納めて、オチャ(お茶)、オントル(御樽)〈柳樽〉、タイ(鯛)二匹、コンブ(昆布)、スルメタンモノ(反物)、カサ(蛇の目傘)、父親にセンス(扇子)二本。他になんらかの品物を娘の兄弟に贈る。お返しは贈った扇子のうち的一本を添えて。

鯛はムスピダイ(結鯛)といい腹合わせに並べる。昆布は広いものを折ってあるもの。



納めた後、ヨメサンの方から仲人に対してオゼン（お膳）を運んで来て接待をする。これをエン（宴）と言う。

- ( \* 4 ) 文末詞「ナ（一）」は同輩以上の者に対して使い、待遇品位は悪くない。
- ( \* 5 ) 嫁の呼称としてヨメサン、ヨメゴ、ヨメゴドン、ヨメジョ、婿については、ムコサン、ムコドンなどがある。婚家の親についてシュートオヤ、姑についての呼称としてシュートオッカサン、シュートガクサン、シュートサンなどを得ている。
- ( \* 6 ) お金をシューギ（祝儀）、ツツミセン（包み銭）と言う。  
かつて嫁入りは夜暗くなってから提灯を下げて行っていた。箆笥や長持ちを担ってあぜ道を運んで行く時、その行列を見た悪がきたちは、田圃や畑の中から土塊を拾い行列めがけて投げていた。たちの悪いいたずらではあるが、子どもたちのひとつの歓迎のあいさつでもあったという。
- ( \* 7 ) 結婚式後、日を決めてムランシ（村の衆）（オツナ<戸主>）を家にアンニヤ（案内）<招待>しオキャク（お客）<宴会>をし、嫁を披露する。今は、手間を省く為に結婚式に呼ぶことが多くなった。
- ( \* 8 ) 初めて姑に連れられてキンジョマーリ（近所まわり）をすることをハツアルキ（初歩き）と言う。目的は、「モノユーチ サロク」（ものを言って歩く）である。姑が挨拶し嫁は頭と一緒に下げるぐらいである。
- ( \* 9 ) 結婚式に出席しなかった人は、例えば次のように挨拶をする。  
○コンニチワー アツカデス ナー。アタゲ ヨメサン モライナハツ  
テデス ナー。ゴアンシンデ ゴザイマツシユー。（f.S.7）  
こんにちは、暑いですね。あなたの家にお嫁さんをもらわれたということですね。ご安心でございましょう。
- ( \* 10 ) 結婚後、嫁が初めて里帰りすることをハツエドマリ（初家泊まり）またサンチブリ（三日ぶり）と言う。姑（シュートオッカサン）が酒を一升程下げて嫁を里に連れて行き、普通、一泊（ヒトバン）して帰る。

（いのうえひろふみ 広島大学文学部助手）